

**夏が来る！**もう7月だね。3年生は多くの子が部活を引退している時期。でも、まだ真っ最中の子もいるよね。水泳、野球、陸上、吹奏楽…(ほかにもあったらごめん)高校生最後の暑い夏。できるだけたくさんの子の頑張ってる姿を目に焼き付けたいと思ってる。応援は大好き！

**さて、受験のための用意もすでに本格始動している…かな？**

## 校外模試の悲劇

かつての南高生の私は、部活を引退して6月に初めて校外の模試を受けに行った。御茶の水の駿台。行った所がまずかった。早朝から夕方遅くまで5教科受けてくたくたになって帰宅。1か月後くらいに成績が戻ってきたけど、なんと、なんと数学0点！(後にも先にも0点はこの時だけだぞ！)それも、1問は「こういうケースはあるかないか？」っていう2択で私はそれも間違えてしまったのさ。(泣)そして自分は受験した人の中のどのくらいの位置にいるかというグラフみたいのがあって、それによると、東大ランクはすごく詳しく説明されてるのに、それ以下だと、「その他大勢」みたいに一括りにされてしまった。もうこんなところでは絶対に受けないぞっ、と心に決めたね。

駿台で数学0点の私が、センター(当時は共通一次)では何点だったか。当時の南高生の平均点。それが180点。200点満点もざらにいた。あんな問題間違える方がおかしいよね、って話を耳にして私は小さくなっていた。

やっぱりレッスルームの威力はすごいよ。

入学説明会で数学の問題集を渡され、その1章をやってくるという課題が出て、最初の授業でクラス分けの試験。その時点で大学入試問題も少しは解けるようになっていた。高校は勉強を教えてもらうんじゃなくて、自分で予めやったことをそれでいいのか確認するのが授業なんだなって、その時に思ったよ。

数学は苦手意識があったのに、もしかして私、できるかもと錯覚でもいから思わせてくれる作戦は功を奏したね。**豚もおだてりゃ木に登る**んだよ。中学から数学と英語はレッスンだったので、その時間に教室を移動することに違和感はなかった。でも毎月定期考査並みの試験でやっぱりハード。

鍛えてくれた先生に感謝です。因みに当時の保護者の方から「**うちの子は数学しか勉強しないんですけどっ！**」って苦情があったのは本当らしいよ。

## 予備校選びは慎重に！

夏休み直前になり、多くの子が夏期講習なるものを予約してあるのたもうていた。「えっ！、私も行かないとまずい？」ってことで、それから探した所がまた悪かった。お金もかかるので、遠慮がちに親にお願いして10日間くらいの短期で申し込んだ。また御茶の水まで行って最初に3教科の試験を受けた。なんと3教科とも成績上位者で名前が貼り出されてしまった。まだほとんど受験勉強らしいことをしてはなかったのに、これじゃだめでしょ。しかもエアコン効きすぎて寒くて全く先生の話が耳に入らない。予備校選びは慎重にしないとね、の巻でした。

それから私は勉強は往復のバスの中と自宅、また教室で昼休みに自作の世界史かるたで遊びながらやったね。同じ勉強するなら楽しい方がいいもの。模試も学校で用意してくれたやつしか受けなかった。当時、学校で夏休みに課外ゼミとかを開講してたかは忘れた。普通に学校がある日に7~8限に生物Ⅱ、土曜午後に化学Ⅱの講座はお願いしてた。

「数学ばかり勉強してんじゃないよ！」

「しょうがないでしょ！南高なんだから」

野球部、陸上部におススメの本…とはいってもすごく面白いからほかの部の人も読んでほしいなあ

「ひゃくはち」大延長 堂場瞬一 堂場さんは他にもスポーツものをたくさん書いてます。

「1985年の奇跡」五十嵐貴久 とにかく読んでみてよ。

「ダッシュ」五十嵐貴久 陸上競技の話ではないんだけど、憧れの先輩のために奔走する高校生たちはすごい！